

幕張サン・ハイツ自主防災会広報

No.2

幕張サン・ハイツ自主防災会 2016.3

本当に怖い！家具の転倒落下

家具転倒がもたらす危険

1995年に起きた阪神・淡路大震災では、住宅内部での被害が多く、負傷者の約半分は「家具の転倒・落下」が原因だったというデータがあります。ガラスの飛散によって負傷した人を含めると、4分の3の人が家具やガラス飛散が原因でけがをしたということになります。つまり、家具をしっかり固定し、ガラスの飛散防止策を行えば、震災の時に殆どの人にはけがをせずにすむのです。

内部被害によるけがの原因

家具の転倒落下
46%

ガラス
29%

その他
不明
25%

家具の転倒を防ぐには

まずは、タンスや食器棚、本棚等の背の高い家具の転倒を防ぐ方法をご紹介します。

器具を使って家具を固定する

家具転倒防止器具は5つのタイプがあります。



小

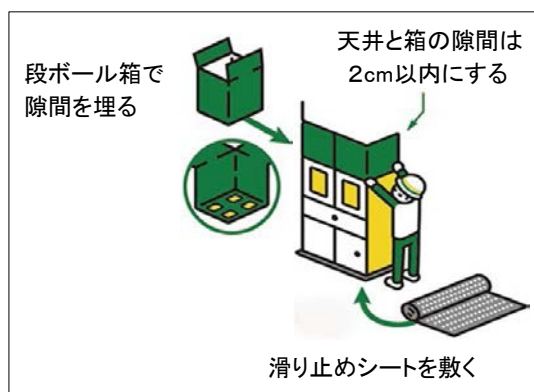
器具の効果

大

当サンハイツでは壁に穴をあけるには専門業者に依頼することになります。

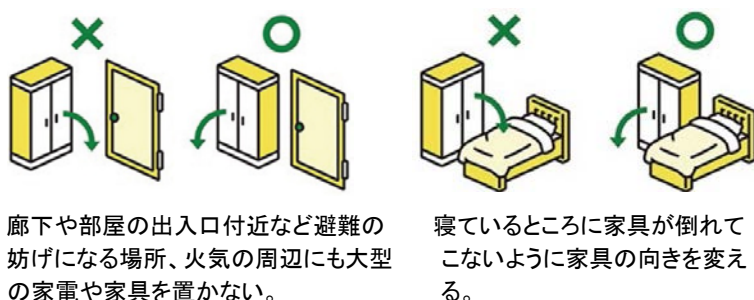
天井と家具の隙間に「ポール式器具」を、家具の底面には「ストッパー式器具」もしくは【マット式器具】を設置すれば「L型器具」と同じ強度になります。

身近なもので固定する



家具の配置を変える

器具や段ボール等での固定もできない場合は、家具の配置を変える。

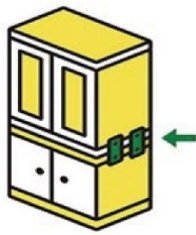


☆こんなところにも危険が!☆

背の高いタンスや棚以外にも対策が必要なものは沢山あります。

●上下が分割している家具

カラーボックスなどを2段以上積み上げている場合は、地震の揺れで上下が外れ、上部が落下する危険性があります。上下の連結固定を忘れずに行うことが大切です！



連結固定金具

●引出や扉がついている家具

揺れにより引出しや扉が開いて、中身が飛び出してこないように「飛出し防止器具」を使用しましょう。特に食器棚は要注意です！



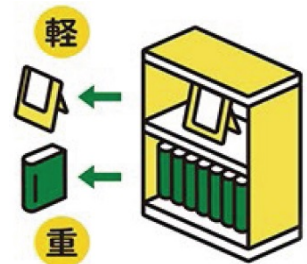
飛出し防止器具

●扉のない棚

落下防止器具を使って棚の中身が飛び出さないようにしましょう。落下抑制シールを本が乗っている棚板面に貼るのも有効です。器具を使用できない場合は、軽いものを上、重いものを下に置くなど棚の重心が下になるような工夫を！



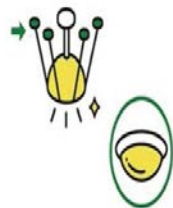
落下防止器具



重心を下げる

●照明器具

吊り下げ式の照明器具はチェーンなどの補強器具を使って、天井に固定するか天井直付けタイプの物に交換しましょう。



●窓ガラス

薄いレースやカーテンを引いておけば、万一ガラスが割れたとしても、破片が部屋中に屋中に散らばるのを防ぐことができます。



●液晶テレビ

薄型テレビやパソコンなどの置き式家具は不安定でとても危険です。専用の器具を使って固定したり、粘着性のマットを敷いて落下を防ぎましょう。

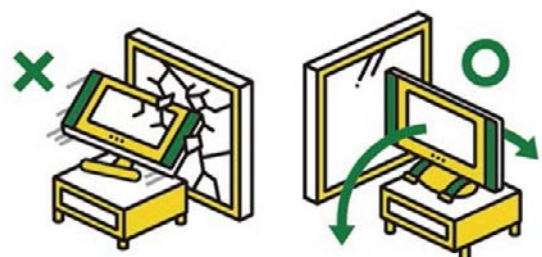


ロープとヒートンなどを利用して連結する



粘着マットで固定する

★テレビ等の家電製品は、窓ガラスから遠い位置に！
また、ベランダの植木鉢が窓ガラスの前に無造作に置かれていないかも確認しましょう！



倒れても窓ガラスに当たらない方向に固定して設置。